

## 議長・副議長選挙における日本共産党県議団の対応について(コメント)

2023年11月28日

日本共産党宮城県議員団

団長 三浦一敏

### 1、議長選・副議長選に対する日本共産党県議団の態度

議長選挙については、三浦一敏団長の名前を書きました。副議長選挙については、みやぎ県民の声のゆさみゆき県議に投票しました。

### 2、議長選挙でなぜ党県議団・団長の名前を書いたかについて

議長・副議長選挙を前に、3会派（みやぎ県民の声、立憲・無所属クラブ、日本共産党宮城県議団）で自民党県民会議に対し、「議長は第一会派から、副議長は第二会派から」というルールに立つように申し入れを行ってきました。

今回の議長選挙で自民党は高橋伸二氏を候補者としましたが、党県議団は以下の理由で容認できない判断をしました。

日本共産党県議団は昨年12月に「統一協会が推進する日韓トンネルを視察した政務活動費の返還等を求める申し入れ」（別紙参照）を行いました。その際、自民党県議5人が2017年6月に、統一協会が推進する日韓海底トンネルの試掘現場である唐津市を視察していることをあげ、支出された政務活動費のすみやかな返還を求めました。

その中に、今回の議長候補となった高橋伸二氏も含まれており、返還に応じない態度をとってきたことから、現在仙台市民オンブズマンと司法の場で、その返還訴訟が争われています。県民的には、その疑念は晴らされておらず、議長としての資質に問題があると判断しました。

### 3、副議長選挙について

副議長選挙は、3会派が申し入れた民主的ルールの確立をめざし、第二会派であるみやぎ県民の声のゆさみゆき氏に投票しました。

日本共産党宮城県議団は引き続き、宮城県議会の民主的運営が実現するよう全力を尽くします。

以上